



平成 29 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 7 月 28 日

上場会社名 株式会社ペッパーフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 3053 URL <http://www.pepper-fs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 一瀬 邦夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事本部長 (氏名) 猿山 博人 (TEL) 03 (3829) 3210
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 7 月 28 日 配当支払開始予定日 平成 29 年 9 月 8 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 12 月期第 2 四半期	15,413	—	1,202	—	1,203	—	683	—
28 年 12 月期第 2 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29 年 12 月期第 2 四半期 704 百万円 (—%) 28 年 12 月期第 2 四半期 一百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 12 月期第 2 四半期	68	75	66	65
28 年 12 月期第 2 四半期	—	—	—	—

(注) 平成 29 年 12 月期第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 28 年 12 月期第 2 四半期の数値及びこれに係る対前年同期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
29 年 12 月期第 2 四半期	11,686		3,581		30.4	
28 年 12 月期	9,198		2,777		30.1	

(参考) 自己資本 29 年 12 月期第 2 四半期 3,557 百万円 28 年 12 月期 2,771 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
28 年 12 月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29 年 12 月期	—	20.00	—	—	—
29 年 12 月期(予想)	—	—	—	5.00	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有・無
 修正等の詳細につきましては、本日公表の「株式分割、定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
 2. 平成 29 年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を予定しており、平成 29 年 12 月期期末の配当予想については、分割後の配当額を記載しております。
 3. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期末の配当金の内訳 普通配当 10 円 00 銭 東証第二部上場記念配当金 10 円 00 銭

3. 平成 29 年 12 月期の連結業績予想 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	33,485	50.0	2,185	128.0	2,164	122.4	1,246	117.8	62.45	

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有・無
 2. 平成 29 年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を予定しており、1 株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	10,071,400株	28年12月期	9,859,600株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	110株	28年12月期	63株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	9,988,950株	28年12月期2Q	9,764,834株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第33期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策により、企業収益や雇用改善などを背景として緩やかな景気回復基調で推移いたしましたが、一方で中国経済の減速、米国経済の動向や欧州経済の動向など、世界経済の不確実性の高まりにより先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、労働需給バランスの悪化による人手不足の影響や人件費の増加、他業種とのお客様獲得競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社グループは「時代を先取り、変化対応と基本の徹底」を基本方針として、年間60店舗出店を目標にペッパーランチ業態及びいきなり!ステーキ業態の出店拡大に取り組むと共に、引き続きお客様への安心・安全な商品提供ができる体制強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は15,413百万円、営業利益1,202百万円、経常利益1,203百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益683百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

① ペッパーランチ事業

ペッパーランチ事業につきましては、年間20店舗出店を目標にスタートが切られ、6月に「宇宙戦艦ヤマト2202愛の戦士たち」とコラボキャンペーン(6月2日～7月13日)を開催し、ペッパーランチ各店にてキャンペーン対象商品「ワイルドコンビ」をご注文のお客様に抽選で宇宙戦艦ヤマト2202グッズが当たるキャンペーンを実施するとともに、キャンペーン期間中ペッパーランチ歌舞伎町店の店内を宇宙戦艦ヤマトの写真等で装飾しました。また、国内のペッパーランチは、平成24年11月から平成29年6月末まで56ヵ月連続で、売上高既存店昨年対比100%超えを達成しております。

海外におけるペッパーランチ事業では、新規出店に伴う機器等の売却、ロイヤリティ収入などにより売上高は153百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,350百万円、セグメント利益619百万円となりました。また、新規出店数は36店舗(うち海外27店舗)であり、ペッパーランチ事業全体の店舗数は428店舗となりました。

② レストラン事業

レストラン事業につきましては、既存店の売上並びに利益の向上に努めてまいりました。ステーキ業態「炭焼ステーキくに」では、赤坂店、両国店において月1回の「美味しいステーキを楽しく食べる夕べ」異業種交流会を継続的に開催し、ブランドイメージの向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,089百万円、セグメント利益は77百万円となりました。また、レストラン事業全体の店舗数は22店舗となりました。

③ いきなり!ステーキ事業

いきなり!ステーキ事業につきましては、年間40店舗出店を目標にスタートが切られ、3月には、肉マイレージカードの発行枚数が100万枚を突破し、その記念として「100万枚達成スタンプキャンペーン」(4月10日～5月9日)を開催しました。4月26日には「ニューヨーク1号店成功理由と世界戦略」と題して、いきなり!ステーキ決起大会をすみだリバーサイドホールにて開催しました。また、肉マイレージカードのカードレス機能を開始し、いきなりステーキアプリから肉マネー(プリペイド)のチャージが可能となりました。(4月27日よりスタート)肉マイレージカード・カードレス機能開始記念キャンペーンとして「アプリチャージ限定キャンペーン」(5月10日～6月12日)を開催しました。期間中いきなりステーキアプリで肉マネーをチャージ頂いた場合チャージボーナス3倍を実施しました。5月末には関東近辺の「ロードサイド」へ3店舗出店し、売上は好調に推移しており、今後、「ロードサイド」への出店を加速させる予定としております。

海外初出店となるニューヨークの「IKINARI STEAK EAST VILLAGE店」において、紙エプロンや「笑顔の見えるマスク」、荷物を入れる「物置き」を各テーブルの下に用意するなど日本では当たり前の事がニューヨークでは珍しく、「ジャパン・ホスピタリティ」として注目されており、これをPR強化するため、ニューヨーク店限定ロゴ入りエプロンを作成し、ニューヨーク店限定で5月に導入致しました。日本でも一部店舗(銀座4丁目店、銀座6丁目店、新橋店、虎ノ門店、神谷町店、新宿西口店、八重洲地下街店の国内7店舗)で5月26日より導入しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,941百万円、セグメント利益は1,198百万円となりました。また、新規出店数は14店舗であり、いきなり!ステーキ事業全体の店舗数は129店舗となりました。

④ 商品販売事業

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ペッパーライス」、「冷凍ハンバーグ」及び、家庭でも味わえる「いきなり!ステーキセット」のネット販売が好調に推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は32百万円、セグメント利益は0百万円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,487百万円増加し11,686百万円になりました。これは主に、現金及び預金が1,659百万円増加したこと、未収入金(その他・流動資産)が114百万円増加したこと、建物及び構築物(純額)が347百万円増加したこと並びに敷金及び保証金が279百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,683百万円増加し、8,104百万円となりました。これは主に、買掛金が664百万円増加したこと、未払法人税等が152百万円増加したこと及び借入金が365百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて804百万円増加し、3,581百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を683百万円計上したこと及び配当により、剰余金を98百万円処分したことにより利益剰余金が584百万円増加したこと、新株予約権の行使に伴い資本金、資本準備金がそれぞれ90百万円増加したことによるものです。また、自己資本比率は前連結会計年度末から0.3ポイント増加し、30.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、4,003百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,153百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を1,192百万円計上したこと、減価償却費を263百万円計上したこと、仕入債務が665百万円増加したこと、預り金が287百万円増加及び法人税等を407百万円支払ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、955百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得により693百万円の支出があったこと並びに敷金及び保証金の差入により297百万円の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、446百万円となりました。長期借入れにより761百万円の収入があったこと、長期借入金の返済により412百万円の支出があったこと、株式の発行により179百万円の収入があったこと及び配当金の支払により98百万円の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において、ペッパーランチ業態及びいきなり!ステーキ業態の店舗売上高及び利益が、平成29年4月28日に公表いたしました予想を上回る見通しであることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成29年7月14日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,374,550	4,034,454
売掛金	972,177	989,196
商品	144,141	159,433
貯蔵品	31,092	42,081
繰延税金資産	52,030	48,614
その他	810,592	847,523
貸倒引当金	△551	△558
流動資産合計	4,384,034	6,120,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,364,310	3,879,856
減価償却累計額	△718,920	△886,565
建物及び構築物(純額)	2,645,390	2,993,291
その他	1,113,585	1,240,852
減価償却累計額	△594,054	△659,137
その他(純額)	519,530	581,715
有形固定資産合計	3,164,921	3,575,006
無形固定資産	84,023	89,889
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,372,239	1,651,619
その他	204,959	260,557
貸倒引当金	△11,590	△11,583
投資その他の資産合計	1,565,608	1,900,594
固定資産合計	4,814,553	5,565,490
資産合計	9,198,588	11,686,235

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,532,645	3,197,511
短期借入金	45,000	62,000
1年内返済予定の長期借入金	707,159	773,136
未払金	501,515	517,140
未払法人税等	437,513	589,707
役員賞与引当金	21,800	—
資産除去債務	1,999	4,258
その他	826,913	1,183,188
流動負債合計	5,074,547	6,326,941
固定負債		
長期借入金	676,816	959,485
受入保証金	489,981	580,184
資産除去債務	174,003	203,018
その他	5,659	34,939
固定負債合計	1,346,460	1,777,626
負債合計	6,421,007	8,104,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281,981	1,372,001
資本剰余金	562,494	652,514
利益剰余金	920,483	1,505,255
自己株式	△62	△129
株主資本合計	2,764,896	3,529,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,665	1,166
為替換算調整勘定	9,183	26,659
その他の包括利益累計額合計	6,517	27,826
新株予約権	6,166	24,198
純資産合計	2,777,580	3,581,667
負債純資産合計	9,198,588	11,686,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	15,413,458
売上原価	8,440,416
売上総利益	6,973,041
販売費及び一般管理費	5,770,595
営業利益	1,202,445
営業外収益	
受取利息	73
受取配当金	63
協賛金収入	7,105
カード退蔵益	10,954
その他	6,568
営業外収益合計	24,765
営業外費用	
支払利息	5,795
為替差損	7,224
その他	10,606
営業外費用合計	23,626
経常利益	1,203,585
特別利益	
固定資産売却益	1,132
新株予約権戻入益	2,416
特別利益合計	3,548
特別損失	
固定資産除却損	14,360
特別損失合計	14,360
税金等調整前四半期純利益	1,192,772
法人税、住民税及び事業税	536,712
法人税等調整額	△27,307
法人税等合計	509,405
四半期純利益	683,367
親会社株主に帰属する四半期純利益	683,367

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	683,367
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3,832
為替換算調整勘定	17,476
その他の包括利益合計	21,308
四半期包括利益	704,676
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	704,676

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,192,772
減価償却費	263,150
受取利息及び受取配当金	△137
支払利息	5,798
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,132
有形固定資産除却損	14,360
売上債権の増減額(△は増加)	△15,666
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,280
仕入債務の増減額(△は減少)	665,020
未払金の増減額(△は減少)	62,056
預り金の増減額(△は減少)	287,146
その他	118,209
小計	2,565,298
利息及び配当金の受取額	1,499
利息の支払額	△6,068
法人税等の支払額	△407,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,153,145
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△693,481
有形固定資産の売却による収入	1,300
無形固定資産の取得による支出	△12,200
敷金及び保証金の差入による支出	△297,095
敷金及び保証金の回収による収入	5,325
預り保証金の返還による支出	△1,200
預り保証金の受入による収入	91,402
その他	△49,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△955,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	17,000
長期借入れによる収入	761,000
長期借入金の返済による支出	△412,354
株式の発行による収入	179,277
自己株式の取得による支出	△66
配当金の支払額	△98,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	446,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,659,903
現金及び現金同等物の期首残高	2,343,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,003,759

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

(1) 配当金の支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月29日 定時株主総会	普通株式	98,595	10.00	平成28年12月31日	平成29年3月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年7月28日 取締役会	普通株式	201,425	20.00	平成29年6月30日	平成29年9月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	3,350,684	1,089,251	10,941,033	32,488	15,413,458	—	15,413,458
計	3,350,684	1,089,251	10,941,033	32,488	15,413,458	—	15,413,458
セグメント利益	619,256	77,394	1,198,414	319	1,895,384	△692,939	1,202,445

(注) 1. セグメント利益の調整額△692,939千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成29年7月28日開催の取締役会において、株式分割について、以下のとおり決議いたしました。

また、本株式分割に伴い、定款の一部を変更いたします。

1. 株式分割の目的

株式分割を実施し、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、流動性の向上及びより多くの株主様に当社株式を保有して頂くことを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成29年8月31日(木曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式数1株につき2株の割合にて平成29年9月1日(金曜日)をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数(平成29年6月30日現在)

① 分割前の発行済株式総数： 10,071,400株※

② 今回の分割により増加する株式数： 10,071,400株※

③ 分割後の発行済株式総数： 20,142,800株※

④ 分割後の発行可能株式総数： 70,800,000株

※平成29年6月30日時点の発行済株式総数に基づく株式数であり、新株予約権の行使等により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

① 基準日公告：平成29年8月14日(月曜日)

② 基準日：平成29年8月31日(木曜日)

③ 効力発生日：平成29年9月1日(金曜日)

3. 1株当たり情報に及ぼす影響

当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円38銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	33円32銭